

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

議員名：岩田 京子

質問事項1：ケアラーを一人にさせない地域支援を

質問要旨：

埼玉県議会2月定例会において、全国に先駆け「埼玉県ケアラー支援条例」が議員提案されているところですが、吉川市におけるケアラー支援についてお尋ねします。

- ① 介護者のつどいの開催状況、課題、今後の予定。
- ② 介護者のつどいに対して市が行ってきたこと。
- ③ 特にヤングケアラーやダブルケアラーなど苦境に置かれた方々の状況把握が必要だが、どのように考えているのか。
- ④ ヤングケアラーに対する支援について。
- ⑤ ケアラーに対する理解の醸成を図るための研修会開催について。
- ⑥ ケアラーの支援者育成のための介護者支援セミナーの開催について。

答弁を求める者：市長・教育長・担当部長

---

質問事項2：SDGsの達成に向け具体的取り組みへ

質問要旨：

今回はSDGsの土台ともいえる「生物圏（目標6、13、14、15、）」と、SDGsの軸となる「実施手段の強化とパートナーシップ（目標17）」に的を絞ってお尋ねします。

- ① 吉川市でも令和2年度当初予算編成方針において、SDGsの視点を踏まえた取り組みの検討をされたということですが、具体的に反映されているところ、強化されているところ、パートナーシップでの取り組みについてお聞かせください。
- ② 吉川市SDGs推進検討委員会での取り組み状況。
- ③ 目標13「気候変動に具体的な対策を」のための吉川市の取り組みは。
- ④ 温暖化対策について、吉川市は今後どうすべきと考えているのか。2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言をしませんか。
- ⑤ 目標14「海の豊かさを守ろう」のための吉川市の取り組みは。
- ⑥ 様々な課題の1つにマイクロプラスチックの問題がクローズアップされていますが、吉川市ではプラスチック・スマート宣言をしませんか。
- ⑦ 目標15「陸の豊かさを守ろう」のための吉川市の取り組みは。
- ⑧ 「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」を市内でどのように周知し、生かしてきたのか。
- ⑨ 目標6「安全な水」のための取り組みについて、吉川市はどのように考えているのか。市内の小中学校で環境にやさしい洗浄剤を利用しているところですが、市民へ向けた啓発など、次のステップは。

答弁を求める者：市長・教育長・担当部長

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

担 当：健康長寿部長寿支援課 内線1519

議 員 名：岩田京子

質問事項：ケアラーを一人にさせない地域支援を

質問要旨：埼玉県議会2月定例会において、全国に先駆け「埼玉県ケアラー支援条例」が議員提案されているところですが、吉川市におけるケアラー支援についてお尋ねします。

①介護者のつどいの開催状況、課題、今後の予定。

②介護者のつどいに対して市が行ってきたこと。

③特にヤングケアラーやダブルケアラーなど苦境に置かれた方々の状況把握が必要だが、どのように考えているのか。

④ヤングケアラーに対する支援について。

⑤ケアラーに対する理解の醸成を図るための研修会開催について。

⑥ケアラーの支援者育成のための介護者支援セミナーの開催について。

口 述 案：

1点目の「ケアラーを一人にさせない地域支援を」のうち、1番目と2番目の「介護者のつどい」についてでございますが、市が会場借上げや開催の周知などを行い、令和元年度は10人の参加者のもと地域包括支援センターが開催いたしました。

令和2年度は、各地域包括支援センターが年3回程度開催する予定でございます。課題につきましては、支援を必要としている家族介護者へのアクセス方法が課題と認識してございます。

次に、2番目の「介護者のつどいに対して市が行ってきたこと」についてでございますが、支援しております。

次に、3番目の「ヤング ケアラーやダブル ケアラーなどの状況把握」についてでございますが、地域包括支援センターが総合相談を通じて、個々の状況を的確に把握しているところでございます。

次に、4番目の「ヤングケアラーに対する支援」についてでございますが、地域包括支援センターの総合相談や介護者のつどいを開催しております。

次に、5番目の「ケアラーに対する理解の醸成を図るための研修会」について

でございますが、家族介護者は、介護による精神的負担、身体的負担を感じる割合が非常に高く、介護者自身の健康確保や社会とのつながりを維持するため、周囲の理解と協力が重要と認識しております。

このことから、介護者のつどい、認知症カフェ、認知症フォーラムなどの開催を継続するとともに、今後、市内の事業所を対象に、家族介護と仕事の両立・準備に関する情報等を提供し、介護者に対する理解の醸成に努めてまいります。

次に、6番目の「ケアラー支援者育成のための介護者支援セミナーの開催」についてでございますが、今後、高齢者数の増加に伴い、在宅で介護を受ける方が増加することが見込まれることから、家族の介護に悩む方に対して、心のケアを始めとする支援など地域で支えていくことが、重要と認識しております。

市といたしましては、埼玉県ケアラー支援条例制定後の県の動向にも注視しながら、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定において、地域包括ケアシステムの生活支援体制整備の地域の担い手づくりとともに、介護者支援の担い手育成についても検討が必要と考えております。

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

担 当：総務部財政課 内線2232

議 員 名：岩田京子

質問事項：SDGsの達成に向け具体的取り組みへ

質問要旨：今回はSDGsの土台ともいえる「生物圏（目標 6、13、14、15）」と、SDGsの軸となる「実施手段の強化とパートナーシップ（目標 17）」に的を絞ってお尋ねします。

- ① 吉川市でも令和2年度当初予算編成方針において、SDGsの視点を踏まえた取り組みの検討をされたということですが、具体的に反映されているところ、強化されているところ、パートナーシップでの取り組みについてお聞かせください。
- ② 吉川市SDGs推進検討委員会での取り組み状況。
- ③ 目標13「気候変動に具体的な対策を」のための吉川市の取組みは。
- ④ 温暖化対策について、吉川市は今後どうするべきと考えているのか。2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言をしませんか。
- ⑤ 目標14「海の豊かさを守ろう」のための吉川市の取組みは。
- ⑥ 様々な課題の1つにマイクロプラスチックの問題がクローズアップされていますが、吉川市ではプラスチック・スマート宣言をしませんか。
- ⑦ 目標15「陸の豊かさを守ろう」のための吉川市の取組みは。
- ⑧ 「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」を市内でどのように周知し、生かしてきたのか。
- ⑨ 目標6「安全な水」のための取組みについて、吉川市はどのように考えているのか。市内の小中学校で環境にやさしい洗剤剤を利用しているところですが、市民へ向けた啓発など、次のステップは。

口 述 案：

1点目の「SDGsの達成に向け具体的取り組みへ」のうち、1番目の「令和2年度当初予算編成にあたっての取り組みなど」についてでございますが、令和2年度予算編成方針では、「それぞれの事業が、『どのようにSDGsに関連するのか』をしっかりとまとめるところから始めて欲しい」、との指示がされており、事業を考察する際の1つ

の考え方といたしまして、昨年度から引き続きSDGsが示されたところでございます。

次に「具体的に反映されているところ」につきましては、「事務事業評価シート」におきまして、関連するSDGsの目標を示すなど、SDGsの視点を踏まえ、取り組んでまいります。

また「強化されているところ」「パートナーシップでの取り組み」につきましては、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」を中心として、第5次総合振興計画に掲げるまちづくりの目標と結びつく内容が含まれており、これらに基づく令和2年度事業の着実な推進により、SDGsとの関連を意識しながら、取り組めるものと考えております。

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

担当：政策室 内線2240

議員名：岩田 京子

質問事項：SDGsの達成に向け具体的取り組みへ

質問要旨：今回はSDGsの土台ともいえる「生物圏（目標6、13、14、15、）」と、SDGsの軸となる「実施手段の強化とパートナーシップ（目標17）」に的を絞ってお尋ねします。

- ① 吉川市でも令和2年度当初予算編成方針において、SDGsの視点を踏まえた取り組みの検討をされたということですが、具体的に反映されているところ、強化されているところ、パートナーシップでの取り組みについてお聞かせください。
- ② 吉川市SDGs推進検討委員会での取り組み状況。
- ③ 目標13「気候変動に具体的な対策を」のための吉川市の取り組みは。
- ④ 温暖化対策について、吉川市は今後どうすべきと考えているのか。2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言をしませんか。
- ⑤ 目標14「海の豊かさを守ろう」のための吉川市の取り組みは。
- ⑥ 様々な課題の1つにマイクロプラスチックの問題がクローズアップされていますが、吉川市ではプラスチック・スマート宣言をしませんか。
- ⑦ 目標15「陸の豊かさを守ろう」のための吉川市の取り組みは。
- ⑧ 「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」を市内でどのように周知し、生かしてきたのか。
- ⑨ 目標6「安全な水」のための取り組みについて、吉川市はどのように考えているのか。市内の小中学校で環境にやさしい洗剤剤を利用してはいるところですが、市民へ向けた啓発など、次のステップは。

口述案：

2点目の「SDGsの達成に向け具体的取り組みへ」のうち、

2番目の「吉川市SDGs推進検討委員会での取り組み状況」についてでございますが、この検討委員会は、市のSDGsに対する方針や取り組みについて、幅広く部署を横断的に協議、検討を行うことを目的として、昨年8月、庁内に設置いたしました。

これまで、検討委員会を2回開催し、各課の事業とSDGsとの関係性や自治体がSDGsを推進する意義などについて議論を行い、それらを踏まえながら、現在、職員への意識の定着や市民の皆様への浸透、関係者との連携などの取り組みの方向性を内容とする推進方針の策定を進めているところでございます。

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

担 当：市民生活部環境課 内線2050

議 員 名：岩田京子

質問事項：SDGsの達成に向け具体的取り組みへ

質問要旨：今回はSDGsの土台ともいえる「生物圏（目標6、13、14、15）」と、SDGsの軸となる「実施手段の強化とパートナーシップ（目標17）」に的を絞ってお尋ねします。

- ①吉川市でも令和2年度当初予算編成方針において、SDGsの視点を踏まえた取り組みの検討をされたということですが、具体的に反映されているところ、強化されているところ、パートナーシップでの取り組みについてお聞かせください。
- ②吉川市SDGs推進検討委員会での取り組み状況。
- ③目標13「気候変動に具体的な対策を」のための吉川市の取組みは。
- ④温暖化対策について、吉川市は今後どうすべきと考えているのか。2050年二酸化炭素排出実施ゼロ宣言をしませんか。
- ⑤目標14「海の豊かさを守ろう」のための吉川市の取組みは。
- ⑥様々な課題の1つにマイクロプラスチックの問題がクローズアップされていますが、吉川市ではプラスチック・スマート宣言をしませんか。
- ⑦目標15「陸の豊かさを守ろう」のための吉川市の取組みは。
- ⑧「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」を市内でどのように周知し、生かしてきたのか。
- ⑨目標6「安全な水」のための取組みについて、吉川市はどのように考えているのか。市内の小中学校で環境にやさしい洗浄剤を利用しているところですが、市民へ向けた啓発など、次のステップは。

口 述 案：

2点目の「SDGsの達成に向け具体的取り組みへ」のうち、3番目の「目標13『気候変動に具体的な対策を』のための吉川市の取組は。」についてでございますが、市の取り組みといたしましては、「地球温暖化防止に関する市民への啓発」、「エコオフィス吉川の取り組み」及び「太陽光発電設備設置促進事業」などがそれに関係すると考えております。

次に、4番目の「温暖化対策について、吉川市は今後どうすべきと考えているのか。2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言をしませんか。」についてでございますが、温暖化対策にあたっては、省エネルギー化を進めることや再生可能エネルギーを用いることで二酸化炭素の排出抑制を図ることが必要であり、今後も省エネなど環境に配慮した行動の促進や太陽光発電設備の設置促進など、温暖化対策に取り組んでまいりたいと考えております。

また、「二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」につきましては、今年2月28日までに全国で74の自治体が行っていますが、温暖化対策への取り組みを表明する形の一つとして検討してまいりたいと考えております。

5番目の「目標14『海の豊かさを守ろう』のための吉川市の取組みは」についてでございますが、市の取組みといたしましては、「エコオフィス吉川」、「浄化槽設置促進」、及び「江戸川クリーン大作戦と統合した市内一斉美化運動」などがそれに関係するものと考えております。

6番目の「吉川市ではプラスチック・スマート宣言をしませんか。」についてでございますが、市といたしましては、宣言は行っておりませんが、令和元年5月29日付で、市が主催する会議において飲み物を提供する場合は、ペットボトルでの提供を控え陶器又はカップなどを使用し提供するよう、全職員に周知しているところでございます。

また、環境団体であります「吉川マイバッグの会」「環境ネットワーク吉川」の協力を得て、マイバッグの普及推進やマイクロプラスチック問題について啓発活動を行ってきたところでございます。

次に、7番目の「目標15「陸の豊かさを守ろう」のための吉川市の取組みは」についてでございますが、市の取組みといたしましては、「自然観察会での自然保護意識の啓発」や「特定外来生物の捕獲や駆除」などがそれに関係すると考えております。

次に、8番目の「「埼玉県東南部地域生物多様性ガイドライン」を市内でどのように周知し、生かしてきたのか。」についてでございますが、この生物多様性ガイドラインは平成30年3月に策定され、その内容については各市町の総合振興計画や都市計画マスタープランといった上位計画の改定の際に反映を検討することとなっておりますことから、このたびの市総合振興計画などの改定にあたり、ガイドラインの内容を反映していくことを考えております。

次に、9番目の「目標6『安全な水』のための取組みについて、吉川市はどのように



考えているのか。市民への啓発、次のステップは。」についてでございますが、目標6は、すべての人が安全にかつ十分な量の水を利用できることではありますが、安全な水を供給するためには、きれいな水源であることも必要で、下水施設などによる水質改善も重要でございます。市の取り組みといたしましては、「浄化槽設置補助事業」や「浄化槽維持管理事業」、「川まつり」などがそれに関係するものと考えております。

また、環境にやさしい洗剤の啓発など次のステップにつきましては、各種イベントにおいて市民に向けて環境に配慮した洗剤の使用を啓発してまいります。